



巻頭言

会長：高橋謙一



新号発刊のご挨拶

皆様、香川県理学療法士会(以下、本会と略す)の広報誌に目を通していただきありがとうございます。本会は昭和43年にわずか3人の理学療法士によって発足した職能団体ですが、現在では1,172名の会員数をかかえる大きな組織となっています。本会の活動目的は、理学療法士の職業倫理の向上、そして理学療法に関する専門的教育及び研究によってその専門性を高め、理学療法士の資質の向上と理学療法に関する知識・技術の普及を図り、最終的には「県民の健康の増進」に寄与することを目標に、日々様々な活動をしています。

さて、理学療法に関する普及については、(公社)日本理学療法士協会という全国組織の設立日(1966年7月17日)から、日本記念日協会に7月17日を「理学療法の日」と登録しており、この日を挟んだ1週間を「理学療法週間」として、例年全国各地で理学療法体験や相談会などなど沢山のイベントが開催されています。香川県における理学療法週間の活動の認知度はまだまだ低いですが、近年は丸亀町レッツやイオン綾川や道の駅牟礼など会場を変えながら健康チェックや介護予防をテーマにして啓発イベントを開催してきました。

しかしながら、昨年から新型コロナウイルス感染症の感染拡大が繰り返されており、皆様におかれましても、感染予防のためマスク着用、三密回避、ソーシャルディスタンス、県をまたいだ移動の制限、外出制限など制約の多い生活を過ごしてきたと思います。その影響は高齢者には甚大であることが予想されたため、昨年度は「自宅でできる健康維持体操」の資料を作成しホームページにアップしたり、「Stay Home用のチラシ」を配布したり、「Stay Homeでもできるフレイル予防-おうちで簡単エクササイズ-」のDVDを作成し関係各所に配布しました。DVDは好評で、追加してほしいとの連絡が相次ぎ増刷して対応しています。本年の啓発イベントは各種健康体操をYou Tubeで7月17日～7月31日まで配信しておりました。

また、この広報誌も普及の方法の1つではあるのですが、永らくNEWSとして昭和60年12月の創刊号より紙面で、平成13年No.44号からは紙面とデータ(PDF)の両方で、会員ならびに関係者へ発信してきました。この度、NEWSから広報誌として名称を変え、内容もリニューアルし、デジタルへ完全移行し、kagawa ebooksへ掲載することになりました。今までも本会ホームページに掲載はしていましたが、これまでより、より広く一般の方々へも情報が届けられるようになります。今後とも継続して広報誌に目を通していただけたらと思います。

明るい話題が少ない世の中ですが、少しずつワクチン接種も進んでいます。皆が知恵と工夫をこらして様々な分野で新しい取り組みがされています。今後は、この広報誌を通して本会からも少しでも明るい話題が提供できればと思います。

最後になりますが、皆様の健康とご多幸を祈念して新号発刊の挨拶とさせていただきます。



『香川県理学療法士会ってどんな会？』



副会長: 藤井保貴

拝啓、盛夏の候、皆様におかれましてはこのコロナ禍にあっても一層ご活躍のことと存じます。今回は、香川県理学療法士会について、皆様に改めて知っていただくために、概要や活動について、私の経験を踏まえてご紹介させていただきます。

香川県理学療法士会は、昭和43年に3名の会員で発足され52年が過ぎ、現在では会員が1,172名になりました。私が入会したのは平成5年であり、会員はまだ120人しかいませんでしたが、先輩たちは自分たちの知識や技術の向上のため、後輩の育成のため、社会貢献のために様々な活動をされていました。私は、早く一人前の理学療法士になりたかったこと、先輩たちが同志として教育してくれることが嬉しくて、ほとんどの活動に参加していました。活動に参加しているうちに、色々な仕事を任せていただけるようになり、生涯学習部長、スポーツ支援部長、訪問リハビリ研修実行委員長、香川県地域包括ケアシステム推進委員長を経て、今では副会長の大役を任せていただいています。日常の仕事以外での活動で、大変なことも多いですが、先輩たちに育てていただいた恩の方が大きいです。

理学療法士は、日頃から医療や介護の現場において、病気や障害を抱える方が自分らしく暮らしていけるよう支援していく専門職であり、より質の高い知識や技術が求められます。香川県理学療法士会では、会員の専門性を高め、理学療法士の資質の向上と県民の健康の増進に寄与できるよう、日本理学療法士協会と連携し、事業を展開しています。「理学療法士の資質の向上」を目的として、香川県理学療法士会が主催する学会や研修会は、年間50回を超えます。特に、年に1度開催される香川県理学療法士学会では約330名の会員が出席し、お互いに切磋琢磨をして、刺激を受けあい、先輩や後輩や同僚たちとの交流を深める場でもあります。今現在は、コロナ禍によってリモート形式で開催されるため、残念ながら集合ができていませんが、お互いに刺激しあう為には早く、集合型の学会や研修会が開催されることを望みます。

また時代の流れと共に、理学療法士に求められる役割も増え、社会貢献できる場が大きく広がりました。スポーツ現場においては、高校野球・高校サッカー・中学バスケットボール・中四国パラ陸上競技大会などで障害予防のためのサポート活動を実施しています。また県内の地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みでは、香川県作業療法士会、香川県言語聴覚士会と共同で委員会を発足し、県や市町の行政と連携し、介護予防事業や他職種との研修事業なども実施しています。さらに高齢者だけではなく、県内の障害児に対するサポート体制の充実に向けての活動も始めました。香川県理学療法士会の目的でもある「県民の健康増進に寄与する」活動を実践するためには、子どもから大人から高齢者まで、全ての県民の健康な暮らしのサポートができるよう、今後も活動を続けていきます。



高校野球サポート活動



**中学バスケットボール
サポート活動**



**認知症予防運動指導者
養成研修会**



最後に香川県は、気候も良く災害も少なく、すごく住みやすい街ですが、30年以内に7割の確率で起こるとされる南海トラフ地震に対しては、香川県の全域が南海トラフ地震防災対策推進地域に指定されています。これを踏まえ、香川県理学療法士会では災害対策委員会を発足し、会員に対して意識を高めるための研修会を開催しながら、発災後の避難所で活動できる人材育成などを行っています。

私たち理学療法士は、専門職としての資質向上と社会貢献という大きな2つの目的があります。これらを実現するためには、個の力ではどうにもなりません、香川県理学療法士会という集団の力があれば、もっと確かな成長ができ、もっと大きな社会貢献ができると思います。

会員の皆様には、より一層の活動参加とご協力をよろしくお願い致します。県民の皆様には、より一層のご理解とご支援を賜りますようよろしくお願い致します。

敬具



Profile～横顔



『香川県理学療法士会の三役ってどんな方？』

『会長』や『副会長』という肩書があると、気軽に声を掛けられない方もいるかと思いますが、今回は、理学療法士会の三役の先生(会長・副会長・事務局長)の事を身近に感じて頂きたく、他己紹介をさせていただきます!!
すごく気さくで優しい先生ばかりですので、今回の広報誌をネタにして、気軽にお声掛けしてみてください!!

【会長 高橋 謙一の横顔】



KKR高松病院 宮崎慎二郎

香川県理学療法士会広報誌の新企画としてスタートしました「横顔」で最初に紹介させていただくのはもちろん、我々の会長 高橋謙一先生です。

高橋会長は、愛媛十全医療学院をご卒業後、香川医科大学附属病院(現 香川大学医学部附属病院)で臨床に従事されたのちに、四国リハビリテーション学院(現 四国医療専門学校)の開設に伴い教員となり現在に至られます。県士会では、学術部長、理事、副会長を歴任され、令和2年度より会長にご就任されております。私は、高橋会長が担任を務められた最初の教え子の一人であり、四国リハビリテーション学院に入学して以来、23年間面倒をみていただいております。現在は理事の一人として、高橋会長のもと士会運営に携わらせていただき、「横顔」を書けることを大変光栄に思います。

さて、皆様は高橋会長にどのような印象をお持ちでしょうか。私が高橋会長を一言で表すならば「精密」です。機械のようで人間味がないということでは決してありませんよ！私が学生時代に高橋会長から受けた教育、そして士会活動などを通して常々感じていることは、とても丁寧で精密なお仕事をされるということです。常に冷静に、細かなところまで気づかれ、精密さには視野の広さと深さを兼ね備えることが大切であることを学びました。鋭い眼光、肅々とお話する姿、接する機会の少ない会員の方々には、少々近寄り難く映っているかもしれませんが、確かに、人並外れた握力と鉄のように固い拳をお持ちで、牛に戦いを挑むようなところもあります(写真:1cm動いたらしいです)、その力を優しさに変えて我々に注いでくれる素敵な会長です。洋酒、クワガタ・カブトムシをこよなく愛し、Facebookはご家族のことや、意外にも!?花の写真で溢れています。

精密で誠実な高橋会長が、力強く牽引くださるこれからの香川県理学療法士会、我々も理学療法士の力を遺憾なく発揮できるよう共に進んでまいりましょう。



Profile～横顔



『香川県理学療法士会の三役ってどんな方？』

【副会長 藤井 保貴の横顔】



JOINT研究会や認知症予防運動指導者養成研修会で講師をされる藤井先生

おか整形・リハビリクリニック 長田 優

藤井先生との初めての出会いは、私が学生(平成12年)時代の評価実習でした。当時の実習施設は理学療法士が藤井先生しかおられませんでした。外来・入院・訪問と大変多忙な様子でした。そんな中でも丁寧に指導頂き、先生のお人柄に惹かれて卒業後入職しました。

新人の頃、先生によく相談していた私は沢山ご指導を頂きました。それはだいたい業務終了後に行われました。時には夜遅くまで2人で治療をし合い、フィードバックして技術を高めて下さいました。私はそこで満足しておりましたが、藤井先生は止まりませんでした。当時の主な身近なアウトプットの場といえば、月に1度の地区勉強会でしたが、発表者の数によっては時間制限や内容の制約を受けます。そこで私たちや周囲の有志者に対して、アウトプットの場を提供する目的でJOINT研究会を立ち上げられました。先生の“バイタリティー”とそれを形にする“行動力”の高さに気づいたのはこの時でした。周囲を巻き込んで上昇していきます。

19年目となる現在は、6人で香川・徳島で活動しています。研究会終了後は決まって皆で食事をします。そこでは、年齢・経験は関係なく何でも言い合います。先生がそういう雰囲気を作り出しているのです。後輩の我々にはとても居心地がよいものです。驚くことに、いつでもどこでも先生は作り出します。年少者の私が言うのは失礼ですが、先生には際立つ“人なつっこさ”が備わっておられます。それが無条件で溢れ出て初対面でも打ち解けることが出来ます。宴席では人の輪ができ、講演会では参加者を退屈させません。当県理学療法士会の活動でもこれらの特徴が見受けられ、困難な対外的業務も次々と達成されました。

他の紙面の引用になりますが、先生のお考えがよくわかる言葉があります。「どんな状況でもやり遂げる」「やるからには喜んでもらえる仕事をしよう」です。ガツンと胸に響きます。今後も見習っていきたいと思います。



【副会長 山田 耕平の横顔】



研修会の合間のお茶目な山田先生



災害対策に熱心な山田先生

総合病院 回生病院 橋本豊丈

山田先生には約5年前に香川県理学療法士会で災害対策委員会を立ち上げる時に声をかけていただいて以降、大変お世話になっております。私たちが災害対策委員会となったのは、山田先生が香川県立中央病院(当時在籍)で、私が回生病院で、それぞれDMAT(Disaster Medical Assistance Team; 災害派遣医療チーム)の隊員資格を取得したことがきっかけでした。山田先生は災害対策委員会の委員長に就任され、委員会活動のノウハウから、災害時対応マニュアル作成や啓発研修会の開催など、強いリーダーシップと行動力で現在に至る活動の土台を築いていただきました。

山田先生は香川県理学療法士会では副会長を務められ、理学療法士としましては豊富な臨床経験から研修会や学会では講師や座長も務められています。山田先生は覚えていないと思いますが、香川県理学療法士学会で私が演題発表をした時にも座長を務めていただいたこともありました。多方面でご活躍されている先生にも関わらず、私たちが話や質問を行いやすい雰囲気をお持ちで、災害対策委員会の会議においても各委員が発言しやすい雰囲気づくりを大切にされている印象です。私がLINEで質問をするときもいつも絵文字やスタンプを多用して返信していただき、若さ溢れる先生でもあります。

令和3年度から災害対策委員会の委員長を私が務めさせていただくことになりました。山田先生が築かれたこれまでの活動を基礎にして、有事には皆様のお役に立てるよう今後も取り組んでいきたいと思っております。



【事務局長 清川 敏郎の横顔】



技術や授業だけでなく、音楽も秀逸な清川先生と藤川先生

● 清川 敏郎事務局長の横顔 (株)アーチ代表取締役 藤川 憲太郎 ●

清川先生との出会いはおそらく平成13年頃でしたので、既に20年近く前ということになります。きっかけは理学療法士としての業務とは全く関係ないシチュエーションでした。当時の知人から結成を持ちかけられたロックバンドのギター担当として清川先生が在籍しており、ベース担当の私は丸亀市内のスタジオで初めての対面を果たしたのです。それから数年、同じバンドメンバーとして活動し、バンド解散後は二人でギターデュオとして丸亀駅前や地元のイベント等でオリジナルの曲を披露していました。

平成20年に私が清川先生の在籍する四国医療専門学校に転職し、初めて理学療法士として業務を共にすることになります。自分と比べ、仕事に対して熱心であるという事はバンド時代から雰囲気を感じていましたし、自身の担当する教科を丁寧に準備する姿勢は見習うべきところだといつも思っていました。かと言って、気難しい訳でもなく、また、堅苦しい訳でもないので、気軽に業務指導をして頂いたことを思い出します。学生に対しても真剣に向き合っており、いつも仕事の悩みを聞いてもらっていました。ただ、私生活では私と同じく酒好きなので、音楽の事、学生の事など、何だかんだ理由を付けて飲んでいたような状況でしたが…。このコロナ禍でお会いする機会が減った事は残念です。

以上、簡単に紹介させて頂きましたが、まだまだこれからも理学療法士として、また、教員として後進の育成に尽力いただき、後輩たちに清川イズムを伝えてもらえればと思います。陰ながら応援しております。

もうすぐ開催 第49回四国理学療法士学会

テーマ「理学療法マネジメントを思索する」とは？

第49回四国理学療法士学会
準備委員長 矢野誠二

1年延期となっておりました第49回四国理学療法士学会開催まで残り数ヶ月となり、私ども学会準備委員のボルテージも上昇しております。さて、今学会テーマ「理学療法マネジメントを思索する」の2つのキーワード「マネジメント」と「思索」についてお話をさせていただきます。言葉の意味としては「マネジメント」=資源(ヒト・モノ・カネ)を効率的に活用し、リスク管理のもとに、目標やミッションの達成を目指すこと。また、「思索」=秩序立てて考えをすすめることと記載されています。

皆さん、理学療法を患者さんに提供する場面や職場内の役割、立場を想像してみてください。最も効率的で効果的な理学療法を患者さんに提供できているでしょうか？自分が職場・職域で果たすべき役割を理解し遂行できているでしょうか？マネジメントとして、大きな資金を投入して最新の機器を導入することで効率性を高める場合もあれば、時間をかけて人材を育成する(または成長する)ことで組織や自分自身の質を高めていくこともあると思います。

今学会の特別講演では、高橋泰先生に未来の日本において高齢化や労働者減少に伴って医療や介護の現場がどう変化していくかを、また、日高正巳先生には少数スタッフの職場でもSDGsをどのように成し遂げていくのかをお話いただく予定です。一方、教育講演として大工谷新一先生に下肢関節へのアプローチと歩行との関連について、片岡弘明先生には代謝疾患をマスターするためのポイントについてと皆様が頓悟する内容を企画させていただいております。

7月10日より事前参加登録の申し込みが日本理学療法士協会マイページにて開始となりましたので、多くの皆様のご参加を準備委員一同心よりお待ちしております。



日高正巳先生



大工谷新一先生



片岡弘明先生

Facebook

[Facebook.com/第49回四国理学療法士学会-187520809512386](https://www.facebook.com/ptshikoku49/)

instagram

<https://www.instagram.com/ptshikoku49/>

Twitter

<https://twitter.com/ptshikoku49>

香川県理学療法士協会学術局 学会部 部長の久保輝明(三豊総合病院企業団)です。

この度、掲載させて頂く機会を頂きまして誠にありがとうございます。「臨床研究をしよう」ではシリーズ企画として主には研究方法論と臨床研究から学会発表までのプロセスなどについて、以降の広報誌での配信を予定しております。

今回は臨床研究の必要性和今年度の学会部の取り組みについて簡単にご報告させて頂ければと思います。

近年、理学療法士養成校での臨床実習体制も大きく変わり、実際の臨床に出てからのスキルアップにおいて、臨床研究という項目は大きな役割を担うものと考えております。また、来年度からは新生涯学習制度も導入される予定であり、香川県理学療法士学会の重要性はさらに増してくるものと思われます。そのような考えの中で学会部としては、今年度2つの勉強会を予定しております。

1つは「研究発表のためのスライドデザイン」として8月1日(日)に開催を予定しております。養成校や職場においても、スライド作成方法について学ぶ経験はあまりないのではと思われますが、学会発表時や患者様へ情報を正確にスムーズに伝えることは重要なスキルと考えます。

2つ目は「研究のはじめかた(仮)」として1~2月頃に開催予定としております。内容としては研究をはじめめる上での準備項目や簡単な統計学的解析などについて講義できればと考えております。其々の勉強会対象者としては研究発表経験の無い、又は発表経験は少ないと感じている県土会員としておりますので、実際の臨床経験年数は関係なくご参加頂ければと思います。

最後になりますが、現在、新型コロナウイルス感染症の影響でこれまでのような集合型開催での学会運営、または研修会等が難しくなっております。しかしながら、今後も実りある学会・研修会等を提供できればと考えておりますので、今後とも何卒よろしくお願い致します。

DVDのお知らせ

健康増進推進部では、自宅で行える運動のDVDを作成致しました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために地域での活動自粛されていることと思いますが、健康に対する講義と自宅でできる運動を約30分にまとめております。地域の健康教室、介護サービスでの集団体操などで、ご活用いただければと思います。

希望される場合はお手数ですが、必要事項を明記の上、下記宛先に連絡して頂ければ無料でお送りいたします。

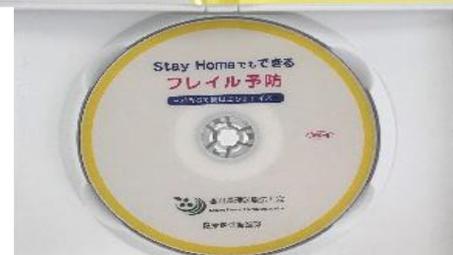
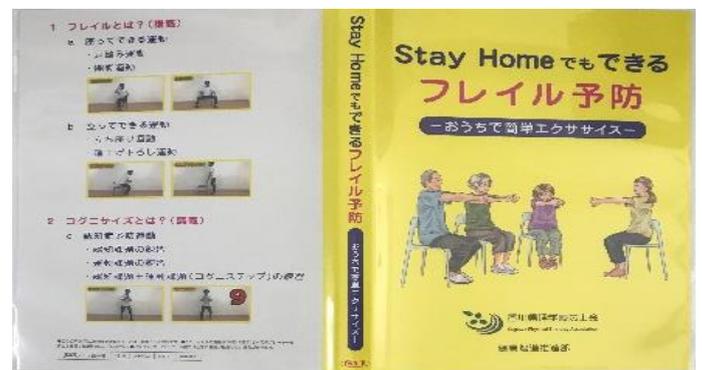
健康増進推進部 部長 管原 崇

連絡先

宛先:田岡知代
< tomo1189nana@gmail.com >

件名:「DVD希望」

内容:必要部数・送付先郵便番号、
住所、氏名(宛先)



各施設役職者向け書籍紹介

キナシ大林病院で、人事・総務・経営管理業務をしている三村と申します。第1号広報誌での紹介させて頂く書籍は、各施設で役職業務を担っている会員の方や、新人教育などに携わっている方向けにお勧めします。

● ビジヨナリー・カンパニー2 ● - 飛躍の法則 -

価格	2,420円(税込)
ISBN	4-8222-4263-3
発行日	2001年12月21日
著者名	ジム・コリンズ 著、山岡洋一 訳
発行元	日経BP
ページ数	420ページ

☆おすすめポイント☆

- 【偉大な組織】に共通する不変の法則が網羅。
 - 目標に合った人を選ぶのではなく、人を見て目標を決定する事の大切さ。
 - リーダーシップとは、謙虚さと意思の強さ
 - 止める事を決める事が重要
 - 1人のヒトとして深く興味を持つことが重要
- 等経営的視点や人材育成など幅広く使えるポイントが記載されています。

●当院の人事考課も各項目4段階評価に変更する事で中間評価を無くし、1人1人をきちんと見ないと評価できないように変更しました。●

私の目指したい理学療法士像

おさか脳神経外科病院 友国 和也

私が理学療法士を目指したきっかけは、カナダへ旅行をした際、障害の有無に関わらず、何歳になっても人生を自由に楽しんでいる人達に出会ったことです。そこでは、自分の人生に対して自己責任において、自由に選択できることの大切さを学びました。

その経験により、患者さん自身が自分の健康状態に向き合いながら、障害の有無に関わらず、今後の人生を自分らしく過ごせるように手助けできる理学療法士を目指したいと考えています。

そのために現在、文献や教本を読むことで知識を蓄えることを頑張っています。特に学生時代に使用していた本を改めて読み返すことで学生時代とは違った気付きに繋がっています。身体の専門家として患者さんから選ばれる理学療法士になる為に、専門性や自分の強みを見つけていきたいと思っています。



令和3年度 香川県理学療法士会 理事会開催の報告

- 第1回理事会: 令和3年4月30日(金) 19:00~21:00(ZOOM) 済
- 第2回理事会: 令和3年5月28日(金) 20:30~21:50(ZOOM) 済
- 第3回理事会: 令和3年6月17日(金) 19:00~20:45(ZOOM) 済
- 第4回理事会: 令和3年7月15日(金) 19:00~20:45(ZOOM) 済

賛助会員広告

(社)日本義肢協会登録・中四国139号

義手義足補装具コルセット
松葉杖安全杖其他整形器専門

(有)宮田義肢製作所

〒762-0042坂出市白金町3丁目5-7

TEL:0877-46-3979

FAX : 0877-44-1251

Shikoku
Medical
Instruments

四国医療器株式会社

本社 〒760-0020 高松市錦町1-11-11 TEL (087) 851-3318 (代)

高知支社 〒780-0814 高知市稲荷町10-7 TEL (0888) 82-3318 (代)

丸亀事務所 〒763-0072 丸亀市山北字道上697-4 TEL (0877) 51-3318 (代)

東部事務所 〒761-0701 木田郡三木町池戸2513 TEL (087) 898-8324 (代)

広報部では以下の原稿を募集します。

なお、投稿資格は香川県理学療法士会会員のみのとなります。

- ・各部のイベント報告や周知事項 各部長、部員
- ・私の理学療法士像 若手理学療法士(3年目まで)
- ・書物の薦め 全会員

応募頂ける会員の方は、広報部 田仲までご連絡ください。

E-mail:tanaka.shoichi@kagawa-u.ac.jp

※ これまで掲載していた厚生部からのお知らせはHPを御確認下さい。

編集後記

香川県理学療法士会広報誌を刷新し、この度新規で電子広報誌立ち上げを行う事としました。

理学療法士会員の方は勿論の事、一般住民の皆様にも有益かつ理学療法士を知って頂ける情報発信を心掛けていきます。各種情報が理学療法士の質向上に、また一般住民の方への有益な情報提供の一助となれるよう、種々の企画を検討しています。

皆様の意見を随時取り込みながら、広報部のみならず理学療法士全員で作りに上げる広報誌としていきたいと考えておりますので、気軽にご意見お待ちしております。

コロナが落ち着き、明るい話題を少しでも提供できる誌面となる事を期待しています。(三村)